



## 安全データシート

### 純水

作成日2010年 5月10日

改定日2014年10月 1日

#### 1. 製品及び会社情報

**製品名:** 純水  
**会社名:** タイキ薬品工業株式会社  
**住所:** 福岡市東区東浜一丁目9番4号  
**担当部門:** 製造部 技術製品企画室  
**電話番号:** 092-641-5736  
**FAX番号:** 092-641-4440  
**メールアドレス:** info@taiki-y.co.jp  
**緊急連絡先:** 092-641-5736  
**整理番号:** SDS-9900

#### 2. 危険有害性の要約

**GHS分類** 全項目は、「分類対象外」、「分類できない」、又は「区分外」である。  
**物理的及び化学的危険性:** 危険性はほとんど無い。  
**人の健康に対する有害性:** 経口 無機塩類などの不純物をほとんど含有していないので、飲み込むと下痢、むかつき、胃痛、腹痛、嘔吐の障害が現れることがある。  
 人間の腎臓が持つ最大の利尿速度は毎分 16ml であるため、これを超える速度で水分を摂取すると体内の水分過剰で細胞が膨化し、低ナトリウム血症を引き起こす水中毒に陥る可能性がある。  
 吸入 大量に吸入しても、有害性は極めて低い。  
 皮膚腐食性・刺激性 有害性は極めて低い。  
**環境に対する有害性:** 有害性は極めて低い。  
**ラベル要素**  
**絵表示又はシンボル:** 該当なし。  
**注意喚起語:** なし  
**GHS分類に該当しない他の危険有害性**  
**注意書き:**

- 【安全対策】
- 使用前に使用説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 飲料用、調理用に使用しないこと。
- この製品を使用する時に、飲食及び喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 【救急処置】
- 万一、気分が悪い場合、医師の手当て診断を受けること。
- 【保管】
- 直射日光を避け、容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
- 【廃棄】
- 下水放流。

#### 3. 組成及び成分情報

**物質**  
**単一製品・混合物の区別:** 単一製品

化学名又は一般名:	純水、水
別名:	イオン交換水
化学式又は構造式:	H <sub>2</sub> O
CAS No.:	7732-18-5
濃度又は濃度範囲:	100重量%
官報公示整理番号(化審法・安衛法):	未設定
GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:	情報なし。

#### 4. 応急措置

吸入した場合:	新鮮な空気の場所に移動させ安静にする。
皮膚に付着した場合:	ガーゼ等の清浄なもので軽くぬぐう。
目に入った場合:	ガーゼ等の清浄なもので軽くぬぐう。症状があれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合:	症状があれば医師の診断を受ける。

#### 5. 火災時の措置

消火剤:	この物質自体は、不燃性である。 周辺の火災時には水、水噴霧、粉末消火薬剤、耐アルコール性泡消火薬剤、二酸化炭素、土砂等。
使ってはならない消火剤:	この製品自体は、不燃性である。
火災時の特有の危険有害性:	不燃性であり、それ自体は燃えない。
特有の消火方法:	移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業者は適切な保護具(『8. 暴露防止及び保護措置』の項を参照)を着用する。 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
環境に対する注意事項:	
回収、中和:	
封じ込め及び浄化方法と機材:	危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。
二次災害の防止策:	すべての発火源や可燃性物質を速やかに取除く。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載。
安全取扱注意事項:	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は、手、顔などをよく洗うこと。 取扱いは、換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気が発生させない。 適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れたりしないようにする。
接触回避:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
技術的対策:	保管場所には貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明の設備を設ける。
混触危険物質:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件:	直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い涼しい所で保管すること。
容器包装材料:	ポリエチレン、ガラス、塩化ビニル、セラミック、ステンレスなど。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度:	作業環境評価基準に設定されていない。 (平成7年3月27日労働省告示26号)
許容濃度 (暴露限界値、生物学的暴露指標):	
日本産衛学会(2012年版):	設定されていない。
ACGIH(2010年版):	設定されていない。
設備対策:	
保護具	
呼吸器の保護具:	保護マスク。
手の保護具:	保護手袋。
眼の保護具:	保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)顔面シールド。
皮膚及び身体の保護具:	保護衣。前掛け、保護長靴等。
衛生対策:	取扱い後は手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	常温で無色透明な液体
臭い:	無臭
pH:	約5~8 大気下で純水は、空気中の二酸化炭素を吸収しやすくpHが低下しやすい。
融点・凝固点:	0°C
沸点、初留点及び沸騰範囲:	100°C
引火点:	不燃性
爆発範囲:	不燃性
蒸気圧:	0.1MPa(100°C)
蒸気密度(空気 = 1):	データなし
比重(密度):	約1.00(4°C)
溶解度:	メタノール、エタノール、アセトン、イソプロピルアルコール、アセトニトリル、 1,4-ジオキサンに混和。 塩酸、硫酸、硝酸、アンモニア水に混和。 ベンゼン、クロロホルム及び四塩化炭素に極めて難溶。
オクタノール/水分配係数:	Log Pow=-1.38
自然発火温度:	不燃性
分解温度:	データなし
臭いのしきい(閾)値:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	該当しない
粘度:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性:	安定。
危険有害反応性可能性:	データなし。
避けるべき条件:	熱。
危険有害性のある分解生成物:	データなし。

## 11. 有害性情報

急性毒性:			
経口	ヒ幼児	LDL <sub>0</sub> 値	333 g/kg けいれん、発作、発熱
経口	ヒ男	LDL <sub>0</sub> 値	42.86 g/kg ふるえ、筋萎縮
経口	ラット	LD <sub>50</sub> 値	>90 ml/kg

	静脈	マウス	LD <sub>50</sub> 値	25 g/kg
	腹腔	マウス	LD <sub>50</sub> 値	190 g/kg
皮膚腐食性・刺激性:	データなし。			
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	データなし。			
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし。			
変異原性:	データなし。			
発がん性:	データなし。			
生殖毒性:	データなし。			
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露):	データなし。			
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露):	データなし。			
吸引性呼吸器有害性:	データなし。			

## 12. 環境影響情報

環境急性有害性:	情報なし。
水生環境慢性有害性:	有害であるとの報告は、見当たらない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	そのまま流して廃棄する。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装:	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	記載なし
国連番号:	非該当
品名(国連輸送品名):	非該当
国連分類:	非該当
国内規制	記載なし
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。

## 15. 適用法令

海洋汚染防止法	有害でない物質(施行令別表第1の2) 16 水
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2853 その他の無機化合物(蒸留水、伝導度水その他これらに類する純水を含む。)】

## 16. その他の情報

### 参考文献

- 1) 日本ケミカルデータベース(株) 化学物質法規制検索システム
- 2) 化学大辞典 共立出版(1993)
- 3) Syracuse Research Corporation (<http://esc.syrres.com/interkow/interkow.exe?CAS=->)

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等にもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。